

若狭地域のWell-beingを実現するために 地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発

若狭地域水産業の将来構想

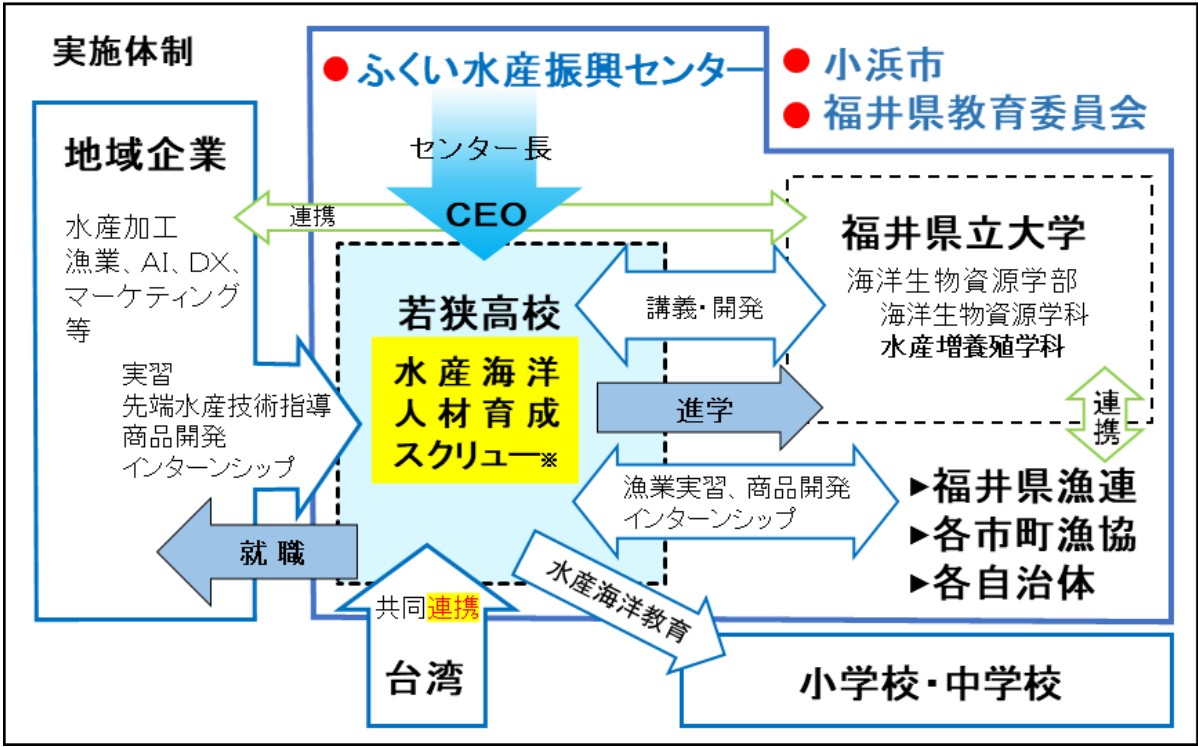
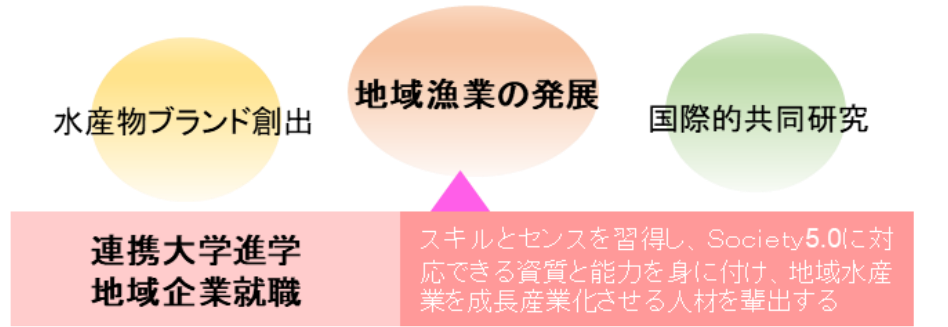
最新技術の活用や水産物のプレミアムブランドの創出により水産関連産業の生産力が向上し、若狭地域の魅力が高まる。
持続的な天然資源の活用のために水産増養殖技術が向上し、つくり育てる漁業が盛んになっている。

目的

水産業界や大学と同期化し、革新し続ける社会に対応しながら地域水産業の持続的な成長を牽引する人材育成とカリキュラム開発

育成する力

地域水産業を成長産業化するための最新技術を活用するスキル
新しい価値を創出するセンス



- マイスターハイスクールCEO
- ◇ MHCEOによる産学の資産を活用したカリキュラム編成
地域企業の技術者による先端技術授業
地域企業、大学の設備を活用した実習
実習船を活用し、大学、企業と共同研究
 - ◇ 学校設定科目「海洋生物資源学」設置
高大接続に向けた連携の強化
大学教授らによる高度な水産海洋教育の実施
 - ◇ 大学・企業等と連携した共同研究、商品開発・販売
持続可能な水産業の研究（未利用資源活用、養殖等）
DXに対応した漁業の研究（AI、ICTの活用等）
地域課題を解決する商品開発（ヨシエビの研究等）
新たな価値を創造する商品開発（チョウザメの研究等）
 - ◇ 海外での研究発表会を実施
台湾との共同研究および学会参加
 - ◇ 海洋キャンパス、実習船の活用
小中学校への海洋教育の推進

スキル	センス
確かな学力 ・探究へ向かう学力 ・水産分野の知識・技能 ・先端技術に関する知識・技能	課題解決へのアプローチ力 ・計画力・実践力、発想力・創造力 ・コミュニケーション力

若狭地域のWell-beingを実現するために
地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発

Well-being実現のために必要なスキルとセンスを具体化し、目標を設定しカリキュラムを改善する



① 海洋ステイクホルダー会議



② 大学教授による授業



③ 地域漁師との協働研究



④ 台湾との連携



⑤ 小中学校への海洋教育



① 目標設定・カリキュラム改善

CEO、運営、事業推進委員会、生徒でWell-being実現のために必要なスキルとセンス検討、具体化し、カリキュラムを開発

② 学校設定科目「水産海洋資源学」の設置

高大接続に向けた連携の強化

大学教授らによる高度な水産海洋教育の実施

③ 大学・企業等と連携した共同研究、商品開発・販売

持続可能な水産業の研究(未利用資源活用、養殖等)

DXに対応した漁業の研究(AI、ICTの活用等)

地域課題を解決する商品開発(ヨシエビの研究等)

新たな価値を創造する商品開発(チョウザメの研究等)

④ 水産海洋教育先進国台湾との共同水産海洋教育研究

教員が互見授業を行い、授業力を向上させる。

水産海洋教育で身につくスキルとセンスを共同検討する。

⑤ 小中学校への海洋教育の推進

実習船や海洋キャンパスを利用し小中学生へ水産海洋教育を早期に実施する。

水産海洋人材育成スクリーとは

本事業の概念図である。本事業の根幹は若狭地域のWell-beingを実現できる資産海洋人材を育成のためのカリキュラム開発である。これらの項目をスクリーと見立て、スクリーが速度を上げ、回転していくことで、カリキュラムは醸成する。CEO、教員、産業実務家教員、委員がこのスクリーの原動力となり、本事業を推進する。